

- 農林漁業、食品製造・販売等その他の事業活動、教育活動又はボランティア活動を通じて、食育の推進に取り組む者を対象として、その功績をたたえとともに、その取組の内容を広く国民に周知し、食育を推進する優れた取組が全国に展開していくことを目的として、表彰を実施。
- 第8回食育活動表彰では、(1)ボランティア部門、(2)教育関係者・事業者部門において、計24（うち農林水産大臣賞5、消費・安全局長賞14、審査委員特別賞5）の個人又は団体が受賞。
- 受賞活動の詳細について、農林水産省ホームページにおいて、動画及び事例集で紹介。

第8回 食育活動表彰 受賞者一覧



農林水産大臣賞



消費・安全局長賞



審査委員特別賞

ボランティア部門

[食生活改善推進員の部]

- 👑 兵庫県いずみ会 [兵庫県]
- 👑 山梨県食生活改善推進員連絡協議会 [山梨県]
- 👑 九戸村食生活改善推進員協議会 [岩手県]
- 👑 大阪市食生活改善推進員協議会 [大阪府]
- 👑 網走市食生活改善協議会 [北海道]

[食育推進ボランティアの部]

- 👑 キッズ☆サポーター [福井県]
- 👑 萩市の食育を支える会 [山口県]
- 👑 宇治市健康づくり・食育アライアンスU-CHA [京都府]
- 👑 なめりかわ食育サポーターの会 [富山県]
- 👑 相愛大学発達栄養学科 チーム「ロスノン」 [大阪府]
- 👑 高松市生活研究グループ連絡協議会 [香川県]

教育関係者・事業者部門

[教育等関係者の部]

- 👑 佐賀県立伊万里実業高等学校 フードプロジェクト部 [佐賀県]
- 👑 埼玉県春日部市立牛島小学校 [埼玉県]
- 👑 一般社団法人日本食育HEDカレッジ [東京都]
- 👑 福岡県立 戸畑高等学校 家庭クラブ [福岡県]
- 👑 岡山県立大学保健福祉学部子ども学科 [岡山県]

[農林漁業者等の部]

- 👑 サスティナ鶴岡 [山形県]
- 👑 西美濃農業協同組合 ふるさと隊 [岐阜県]
- 👑 鈴木 芳昭 [千葉県]
- 👑 JA糸島青年部 [福岡県]

[企業の部]

- 👑 株式会社千葉ジェッツふなばし [千葉県]
- 👑 株式会社松本山雅 [長野県]
- 👑 株式会社伊藤園 [東京都]
- 👑 株式会社ライフコーポレーション [東京都]

第8回 食育活動表彰

事例集



●食育活動表彰(農林水産省ホームページ)

<https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/hyousyo/index.html>



第8回 食育活動表彰

農林水産大臣賞を受賞した団体＜ボランティア部門＞

①兵庫県いずみ会（兵庫県）

兵庫県いずみ会は、県の食生活改善推進員協議会として、発足から50年。子どもから高齢者まで各ライフステージに向けて、バランスのよい食生活の習慣化を啓発してきました。参加者の日常生活に日本型食生活が定着することを意識し、講習会や調理実習の開催、訪問活動やICT技術を活用した情報発信等の食育活動を行っています。また、「ごはんを炊くことができる子ども」を増やす取組や子育て世代の男性と子どもを対象とした調理実習を行うなど、対象の年齢層を拡大してスキルを伝達しています。



お父さんと一緒だとますます張り切る子どもたち

②キッズ☆サポーター（福井県）

キッズ☆サポーターは、一般的な子ども料理教室と異なるコンセプト「料理を学ぶのではなく、料理で学ぶ」を掲げ、「だれ一人取り残さない」という義務食育体制のもとで、年長児が参加する「キッズ・キッチン」及び小浜市内の全小学6年生を対象とした「ジュニア・キッチン」に取り組んでいます。「ジュニア・キッチン」では郷土料理の作り方や味を学ぶ活動、朝廷に若狭の海の幸や塩を献上する御食国（みけつくに）であったこと等の歴史についても触れ、郷土に誇りを持つことを目指した食育活動を行っています。



お豆腐上手に切れるかな…？

第8回 食育活動表彰

農林水産大臣賞を受賞した団体＜教育関係者・事業者部門＞

③佐賀県立伊万里実業 高等学校フードプロジェクト部 (佐賀県)

佐賀県立伊万里実業高等学校フードプロジェクト部では「食で伊万里を元気に」をキーワードに、企業と連携しての規格外の食品や食材を活用した商品開発、NPO法人、自治体、学校及び市民が連携してのフードドライブや子ども食堂の運営等、継続して行っています。市民調査の結果では、地産地消を実践していない人が半数だったことから、地域住民が参加できる持続可能なまちづくりを目標に活動を発展させながら、食品ロス削減と食育活動の推進に取り組んでいます。



開発した商品の販売会の様子

④サスティナ鶴岡（山形県）

昨今、手の込んだ郷土料理や行事食などを家庭で食べる機会が減少、孤食が増加したことから、郷土食文化の継承が危機に陥っているという課題を解決するため、食材生産のプロである農家や漁師と食材活用のプロである料理人がタッグを組んで「サスティナ鶴岡」を設立し、生産から調理まで一貫したハイレベルで多様な食育活動を行っています。体験を通して「いただきます」「ごちそうさま」の心を育てながら活動しています。



「いただきます」命の授業

⑤株式会社千葉ジェッツふなばし (千葉県)

バスケットボールB1リーグの千葉ジェッツは、ブースター(ファン)やパートナー企業、協力団体の皆様からの支援や応援に対する恩返しをしたいという想いから「"ささえる"からはじまる社会貢献」をスローガンに、子ども食堂、フードドライブ、子ども未来会議室、選手食堂での地元食材使用、自治体×民間で船橋二ジンPR、地元食材で選手と料理体験等の様々な社会貢献活動を行うなかで、生きる上での基本である「食育」を活動に不可欠な要素として取り入れています。



憧れの選手と田植えや稲刈りを体験